

57・10月  
第123号

発行 者  
根岸 岳 萃  
禰 集  
中 村 愛  
岩 崎 岳

# 碩心会月報

会員数(57・10現在)

逗子地区 140名

葉山地区 290名

大船地区 65名

合計 495名

日本詩吟学院 岳風会  
神奈川 碩心会

認可  
発行

## 趣味に生きて

大船A支部 山 口 紫 風

道を歩かへてゐると、どこからともなく金木犀の香りがたゞよってきます。例年なら爽りの秋の快晴に恵まれてゐる頃ですのに、今年には台風連続で一向に天候の定まらぬ今日この頃です。

十年ふと昔と申しますが、本当に詩吟を始めてからもう十年以上も過ぎたとは思えぬ早さを感じます。一向に上達しない自分の吟にへささが情なく思っておりますが今の私には教場で大きな声で練習してゐる時が一番の心の慰めになっております。三年の間に一人娘と長男が続いて天国に旅立って、後に残された悲しみに、死とハラの文字に誘惑は強ひものでした。で

も私には救いがありました。もれ私は何の趣味も持っていないかつたらと考えるだけでも、つくづくと詩吟を続けていて良かったと思ふ日々です。ハロいろの事情で止める方達もハロっしやいます。が是非々々事情が許す限り、続けることを老婆心まで申しあげます。いつか心の寄り所になる時がきつとあると思ひます。私も今二年間の空白を取り戻すべく下手は下手なりに、詩吟の良き協力者でいてくれた亡き娘のためにも頑張っております。

曼珠沙華 縹なす紅の暮れ早レ  
露冷や 待つ娘亡き家へ路曲る  
秋彼岸 昔のままに父母の墓

紫風

昭和58年度 審査課題 58/1/3 58/12

五役		中伝			四役		三役		初伝		二役		初役							
和歌	漢詩	和歌	短歌	漢詩	五言絶句		七言絶句		七言絶句		七言絶句		七言絶句							
1/148 (10) 箱根路を	1/144 (1) ひむがしの	1/150 (10) 敷島の	1/154 (1) 幾山河	1/160 (2) 児島高德	1/162 (1) 桜花の詞	1/108 (3) 勸学	1/109 (2) 易水の送別	1/157 (1) 漫述	1/152 (1) 述懐	1/52 (1) 速懐	1/50 (2) 北海道巡遊中作	1/52 (3) 常盤孤を控くの図	1/23 (2) 武野の晴月	1/29 (3) 不識庵棧山を撃つのに題す	1/23 (1) 爾靈山	1/23 (2) 自由吟 初伝・三役の課題を除く	1/23 (1) 自由吟 初伝・三役の中から	1/23 (2) 自由吟 初伝・三役の課題を除く	1/23 (1) 自由吟 初伝・三役の中から	1/23 (2) 自由吟 初伝・三役の課題を除く
源 美朝	柿 本人磨	本居 宣長	若山 牧水	齊藤 監物	逸 名	陶 浩	賢 賓王	佐久 間象山	雲井 龍雄	伊藤 博文	梁川 星巖	頼山 陽	林 羅山	頼山 陽	乃木 希典					
師範		準師範			奥伝						六役									
		和歌	短歌	漢詩	書取	新体詩	俳句	和歌	漢詩	和歌	短歌	漢詩	和歌	短歌	漢詩					
略		1/138 田子の浦を	1/155 (10) 真木ふかき	1/162 零丁洋を過ぐ	1/176 書懐	1/180 八幡公	1/186 小語をる言城のほとりへ	1/150 (10) 自然と人生	1/157 春の海	1/159 やせ蛙	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの	1/145 (10) ひさかたの
		山部 赤人	今井 邦子	文 天祥	作者 不詳	頼山 陽	島崎 藤村	徳富 蘆花	蕪 村	一 茶	山上 憶則	紀 友則	頼山 陽	河野 天籟	梅田 雲浜	石川 啄木	杜 甫	眞 山民		

◎ 昭和58年度 高殺者審査課題 5/15/5/12

八殺					七殺																		
書	新	俳	和	漢	書	新	俳	和	漢														
取	体	句	歌	詩	取	体	句	歌	詩														
1/72 本能詩	1/100 (旧) 自然と人生	1/106 小諸(小諸) 百城のほとり(三三)	1/154 菜の花	1/156 世の中	1/148 君がせ	1/124 (旧) 秋日偶成	2/42 無欲	1/150 (旧) 自然と人生	1/142 奥の細道(除俳句)	1/140 行く川の	1/42 心なき	1/155 古池	1/146 荒海	1/140 桜花の詞	1/150 逸名	1/140 徳富蘆花	1/146 芭蕉	1/140 徳川光圀	1/142 西行法師	1/140 西郷南洲	1/140 菅原道真		
1/12 山陽	1/100 徳富蘆花	1/106 島崎藤村	1/154 芭蕉	1/156 芭蕉	1/148 梅田雲浜	1/124 程道明	1/42 良寛	1/150 徳富蘆花	1/142 松尾芭蕉	1/140 徳川光圀	1/42 西行法師	1/155 芭蕉	1/140 徳川光圀	1/150 逸名	1/140 徳富蘆花	1/146 芭蕉	1/140 徳川光圀	1/142 西行法師	1/140 西郷南洲	1/140 菅原道真	1/140 菅原道真		
九殺					皆伝																		
書	新	俳	和	漢	書	新	俳	和	漢														
取	体	句	歌	詩	取	体	句	歌	詩														
1/12 山陽	1/107 千曲川旅情の歌	1/109 銀河(三三)	1/158 こぬがま	1/159 やせ蛙	1/160 淡海の海	1/162 やわらかに	2/78 (旧) 偶成	1/174 獄中感有り	1/146 (旧) 富士の山を詠める	1/146 富士の山を詠める	1/146 塚も動け	1/156 夏草	1/152 (旧) 身はたとい	1/150 父君よ	1/166 獄中作	1/166 獄中作	1/166 獄中作	1/166 父君よ	1/166 身はたとい	1/166 夏草	1/166 塚も動け	1/166 富士の山を詠める	1/166 獄中作
1/12 山陽	1/107 千曲川旅情の歌	1/109 銀河(三三)	1/158 こぬがま	1/159 やせ蛙	1/160 淡海の海	1/162 やわらかに	2/78 (旧) 偶成	1/174 獄中感有り	1/146 (旧) 富士の山を詠める	1/146 富士の山を詠める	1/146 塚も動け	1/156 夏草	1/152 (旧) 身はたとい	1/150 父君よ	1/166 獄中作	1/166 獄中作	1/166 獄中作	1/166 父君よ	1/166 身はたとい	1/166 夏草	1/166 塚も動け	1/166 富士の山を詠める	1/166 獄中作
1/12 山陽	1/107 千曲川旅情の歌	1/109 銀河(三三)	1/158 こぬがま	1/159 やせ蛙	1/160 淡海の海	1/162 やわらかに	2/78 (旧) 偶成	1/174 獄中感有り	1/146 (旧) 富士の山を詠める	1/146 富士の山を詠める	1/146 塚も動け	1/156 夏草	1/152 (旧) 身はたとい	1/150 父君よ	1/166 獄中作	1/166 獄中作	1/166 獄中作	1/166 父君よ	1/166 身はたとい	1/166 夏草	1/166 塚も動け	1/166 富士の山を詠める	1/166 獄中作

正師範	十段				
	書取	新体詩	俳句	和歌	漢詩
略	前兵児の謠	雨ニ負ケズ	銀河(三・四)	とんぼつり	親思ヲ
	頼山陽	宮沢賢治	島崎藤村	一茶	千代女
					吉田松陰
					若山牧水
					佐々友房
					王陽明
					漢詩
					秋々吟
					吉次峠の戦
					白鳥は

◎ 理事会のひらかる

とき・57.9.29(水)  
ところ・桜山下会館

一 役員改選の件(決定)

名誉会長	松井 岳洋
会長	根岸 岳萃
副会長	加藤 岳相
相談役	小峰 桜岳
	三井 雲岳
総務部長(常任理事)	加藤 圭岳

企画部長(常任理事)	千葉 香岳
許証部長( )	中村 幸岳
教務部長( )	竹石 憲岳
広報部長( )	中村 愛岳
会計部長( )	秋元 梁風
逗子地区長( )	千葉 劔岳
葉山地区長( )	沼田 沈岳
大船地区長( )	井沢 潮岳
会計監査( )	鈴木 萃岳
総務副部長(本部理事)	広瀬 翔風
企画副部長( )	村田 静風
許証副部長( )	杉山 雪風
広報副部長( )	岩崎 恵岳
葉山副部長( )	沼田 義風
大船副部長( )	森田 曉岳

一 会則一部改正の件(決定)

- 第七條(役員)に本部理事をいれる
- 其の他

三、理事の定数について（決定）

◇ 碩心会登録人員から役員を除外した人員  
中より各支部の理事を選出する。

◇ 各支部長は必ず理事に選出する。

◇ 理事選出算定基準は役員を除き20名以内  
は一名とし、爾後20名増すごとに一名を  
加える。

◇ 55年以降選出された理事については上記  
の理事選出基準にかかわらず57年度任期  
中は引続き理事としてとどまる。

（各部長の報告）

教務（竹石） 主として指導者講習会の設定

吟道配布（88冊）

総務（加藤） 連絡事項の日限に留意ありたし。

企画（千葉） 58年度初吟会一月十六日に決定。

当番は一色A・下山口・吟甫

許証（中村） 追試の件、許証料納入は期限までに。

58年度課題は文書が入り次オコピー、  
して指導者に配布、又月報に掲載

初任以上は課題中どちらかでもよ  
いように勉強しておいてほしい。  
月報中間違ハ箇所は配布の前に訂  
正してほしい。

建設的意見があったら中村まで  
スムーズに納入を感謝  
納入会員数は広報発表の時点で取  
扱う。

監査（井沢） 会計が詳細で間違ハがなかった。  
兼山（沼田） 地区温習会を11月28日（日）会場は葉  
地区長（代） 山福祉会館（以上予定）

（千葉） 県大会合吟コンクールに大船から  
二名協力に感謝  
逗子地区の各流派合同大会に逗子  
地区の皆さんの協力を感謝

大船（下條） 森田副地区長の協力をお願いして  
地区長 努力する。

（其の他）  
理事以外の指導者については指導者講習会の  
場を通じて、連絡、報告を行う。

